



教 学 第 1030 号
教 保 第 405 号
令和 3 年 9 月 10 日

各県立学校長 様

学 校 教 育 室 長
保健体育課総括課長

岩手緊急事態宣言下での学校における今後の対応について（通知）

岩手県新型コロナウイルス感染症対策本部は、令和 3 年 9 月 9 日、第 40 回本部員会議を開催し、岩手緊急事態宣言（令和 3 年 8 月 26 日改訂）により新規感染者を抑え込むために盛岡市全域の飲食店に対し要請していた営業時間短縮について、一定の効果がみられたことから令和 3 年 9 月 12 日をもって解除することといたしました。

岩手緊急事態宣言が発令されてから約 1 ケ月経過し、急激に感染者数が増加する傾向は避けられているものの、県内各地において、この間、複数の学校でクラスターが確認されたほか、職場クラスターも確認されていることから、人と人との接触を極力減らすため、不要不急の外出や都道府県をまたぐ不要不急の往來を自粛するなど、引き続き、基本的な感染対策の徹底をするため、宣言は継続することとなりました。

県教育委員会では宣言を受け、各学校での感染拡大リスクの高まりに伴う教育活動について、感染症対策に取り組まれるようお願いしてきたところですが、改めて、下記事項を教職員に周知するとともに、学校における新規感染者数の徹底的な抑え込みを最優先として、感染拡大防止対策を更に徹底するようお願いします。

記

1 基本的な感染対策について

- (1) 手指消毒、マスク着用、こまめな換気、3 密の回避等、基本的な感染対策を徹底すること。
- (2) 生徒・教職員ともに発熱等の症状がある場合、登校・出勤を控え、早期に医療機関等を受診すること。
- (3) 列車及びバス通学で他校生徒等と接触する場面については、マスクの着用、距離の確保など感染対策を徹底すること。
- (4) 国から各校あて順次配布されている抗原簡易キットについて、「高校等における抗原簡易キットの活用の手引き」により、学校医の指導のもと、各学校の実情に応じた使用方法を検討のうえ有効活用すること。

2 教育活動について

- (1) 地域の感染状況に応じ、公共交通機関による通学での密を避ける必要がある場合には、時差通学を実施すること。
- (2) 臨時休業等となった際に、生徒がオンラインによる指導を確実に受けられる状態にあることを確認するため、学校 W i - F i を活用して、T e a m s によるオンライン S H R を早期に実施すること（9 月 3 日時点での全日制高等学校におけるオンライン S H R の実施率は 58.7%）。

3 部活動について

部活動の実施については、地域の感染状況や競技特性及び活動形態等を踏まえ、慎重に判断することとし、実施する際は、「学校での感染拡大リスクの高まりに伴う教育活動について」（令和 3 年 8 月 26 日付け通知）に加え、次の事項を徹底するなど、万全の感染防止対策を講じること。

- (1) 活動時間については、校内で「2 時間以内」とするが、可能な限り、時間短縮を図ること。
- (2) 部員同士による活動前後の密集や飲食など感染リスクが高い行動は避けること。
- (3) 上記の内容以外については、「県立学校の部活動について（令和 3 年 4 月 6 日通知）」を確認し、感染症対策を徹底した上で活動すること。

【担当】○教育活動に関すること	学校教育室高校教育担当（019-629-6140）
○部活動に関すること	保健体育課学校体育担当（019-629-6190）